

令和六年三月十二日(火)に実施したフラワーフェスティバルには、地域の皆様方四十名の参加をいただきました。子どもたちによる日頃の活動やシマ唄の発表、また校内で栽培したシイタケを使った手作りしいたけスープやたんかんの生搾りジュースの振る舞いもあり、会場は笑顔に包まれました。

奄美市立住用小学校  
 奄美市住用町役勝27番地  
 TEL 0997-69-2109  
 FAX 0997-69-2101

## 花で住用明るく元気に

### 住用小学 地域の人が参加 フラワーフェスティバル



花の紹介をしました



全員であいさつをしました



手話を使って「いきゅんにゃ加那節」を唄いました

その後、2年(5人)が島唄の「いきゅんにゃ加那節」を手話を使って唄いました。



みんなで六調を踊りました

来場した地域の一人一人に花のプレゼントがありました。

奄美市の住用小学校(3)をテーマに、1年に花つばい運動「コ花見でもらいながら(山美奈子校長、児童、児童)間接を進めよう」をテーマに、最優秀、優秀なシイタケ料理を14人が、「住用を明かす」また、2023年賞を受賞しました。そ提提したので、今年も、元気を届けよう、奄美市「地域」とも「こ」で12日、地域の人の活動報告として、

はじめに松山結奈さん(8年)があいさつ。住用の人口が減っている、児童も少ないので住用を明るくするプロジェクトを考えました。と1年間の活動紹介がありました。

次に松山武成くん(4年)が住用小にある花を紹介。ペコニア、ヒメキンギョソウ、サンパチマシス、ツルコザクラ、マリーゴールドなどです。

最後に六調です。サ年。地域の人がちや、会場を訪れた、山元

松山くんは「花を一つ一つ育てて住用を元気にすることができうれしかった」と笑顔を見せました。山校長は「住用を元気にしたい」と話しました。

トキ子さん(79)は子どもたちの発表もすばらしく、シイタケスープやタンカンジュースもおいしかった。学校に入ることはほとんどなかった。だからいろいろな行事に顔を出した」と話しました。

フラワーフェスティバルは、40人以上の地域の人たちが参加、児童全員で校内を一周して花の紹介をしました。

サンシンは山出身の松山結奈さん(4)が、会場を訪れた、山元

松山くんは「花を一つ一つ育てて住用を元気にすることができうれしかった」と笑顔を見せました。山校長は「住用を元気にしたい」と話しました。

松山くんは「花を一つ一つ育てて住用を元気にすることができうれしかった」と笑顔を見せました。山校長は「住用を元気にしたい」と話しました。

松山くんは「花を一つ一つ育てて住用を元気にすることができうれしかった」と笑顔を見せました。山校長は「住用を元気にしたい」と話しました。